平成23年度第7回石狩市行政改革懇話会議事録

日 時：平成24年2月22日（水）15：00～16：00

場 所：石狩市役所3階 庁議室

出席者：次のとおり

委 員			職 員	
役職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会長	辻 正一	○	(事務局) 総務部長	川又 和雄
副会長	松尾 拓也	○	(事務局) 総務部行政改革担当参事	幸田 孝仁
委員	永山 隆繁	○	(事務局) 総務部行政改革担当主査	青木祐一郎
委員	能村久美子	○	総務課長	細川 修次
委員	浅井 秀樹	○		
委員	太齋 敏子	○		
委員	向井 邦弘	○		
委員	今中 建男	欠		

傍聴人：なし

【事務局：幸田行革担当参事】

時間になりましたので第7回行政改革懇話会を始めさせていただきます。

それでは、社会長宜しくお願い致します。

【社会長】

では、今年度第7回の懇話会を始めます。

先般、各委員のお許しを頂き、松尾副会長、永山委員のお手伝いを頂きながら、前回の皆様のご意見を踏まえて、報告書のたたき台を作成いたしました。本日はその確認を頂きます。

『石狩市行政改革2016』は、紆余曲折はありましたものの、当懇話会の意見も採り入れていただきながら、現段階では適切なものであると受け止められます。

『実施計画』については、これまでも当懇話会からいろいろな意見を提出いたしました。が、前回、その成案が示され、最終的な意見を求められ、議論致しました。報告書たたき台はその結果をまとめたものであります。

ざっと、ご説明をさせていただきます。

会長預かりとさせていただいた「行政評価の活用」ですが、原案のようにこの箇所に

置くなら“外部化できる仕事を発掘する”という目的との関係を明確にさせていただきたいと考えました。我々は、むしろ「(積極的な)仕事の仕方の見直し」から意見を述べてきたわけですが、そのことについては後ほど触れさせていただきます。「女性の登用」「目標管理」「ICT化について具体項目の追加」、第3プールの「ICT化の考え方の明確化」などについては、各委員からのご意見を集約して表現したつもりであります。提案のありました「災害緊急通報への地域にあるネットワークの活用」につきましては、その効用や活用の具体的内容も含めて研究課題とする意味で、直接的に述べることは避けております。「フェイスブックの活用」についても、予算との関連もあり、今回は留保いたしております。

それから、浅井委員の審議会の推薦委員について、「特定の推薦母体に偏らないように」というご意見ですが、女性の登用とは直接関連しませんが、そのなかに併記して“また”書きになりますが、ご発言の趣旨を活かさせていただきました。

その他の、“事務的に修正できること”“議論の結果、報告書には載せないとされたこと”については、前回懇話会の整理の仕方に従い、特に、この報告書では触れていません。

次に、付帯意見として、『行政改革2016』および『実施計画』の推進、運用に関し、特に留意していただきたいことを付言しました。松尾副会長からの「進捗のモニタリング」、総務部長のご発言にもありました「管理職のリーダーシップ」についても触れて居ります。また、我々がこれまで強く要請してきた「仕事の仕方の改善」については、副会長や向井委員からもご指摘がありました様に、必ずしもこの程の『実施計画』の中では、我々の意図が十分に受け止められているとほうかがえないことから、この後も、積極的な検証が行われ、次年度以降の具体的な施策に繋がることを期待して、此处で付言いたしております。

記述する内容であります、「Ⅱ付帯意見」の(1)～(3)本文中、“従って”までの部分は、報告書が冗長になるのを避けるため削除したいと申し上げましたが、その後、何人かの委員から「必要である」とのご意見を頂きました。ここのご判断ください。

では、此处で、若干お時間を取りますので、たたき台をお読みいただき、その後に、ご意見を頂くことと致します。

【社会長】

よろしいでしょうか。

それでは、ご意見を頂きます。一項目ずつ進めて参ります。

「Ⅰ結論」の1において、「示された『石狩市行政改革2016』(原案)は、今後の環境の変化を踏まえた適切な内容であります。」と致しました。

『石狩市行政改革2016』は、これまで、当懇話会において何度も議論をして、懇話会の意見を入れていただきました原案ですから、現段階ではよろしいかと思いますが、この点はいかがですか、よろしいですか？

【全 員】

はい、結構です。

【社会長】

次に「2」において、「示された『同実施計画』（原案）は、次のことについて、さらに検討されることを要請いたします。」と致し、その内容を挙げております。

まず、「(1)【PPP・協働の推進、「行政評価の活用】】については、「“PPP、市民協働事業に移行できる仕事”を積極的に発掘する」という趣旨・目的を明確に表すべきであります。」と致しました。この問題は、我々は、どちらかと言うと「仕事の仕方の見直し」が必要であるという立場からの意見に関連して出て来たものであります。もしそうなら、「市役所イノベーション」のところにおかれるべきです。示された原案には「PPP・協働」のところに置かれています。事務局としては、経過の有る事のようなので、それならば、「行政評価を活用して、PPP、あるいはアウトソーシングの材料を探してゆく」というように、趣旨をハッキリと整理するということでもあります。具体的なものが無ければ第2プールではないかという議論もありました。第1プールに位置付けるのはいささか違和感がありますが、前回、事務局の意向も汲んで敢えて異論を唱えないということになりました。如何ですか？

【向井委員】

(1)の表題【PPP・協働の推進…】と本文中「“PPP、市民協働事業…”の、“・”と“、”は統一しては如何ですか？

【社会長】

実施計画の表記に合わせて“・”に統一いたします。

次に、(2)【PPP・協働の推進、「審議会への女性の登用】】のところでは“例えば”と入れました。そして、先程触れたように特定の推薦団体に偏らないようにと致しました。

よろしいでしょうか？

【全 員】

よろしいです。

【社会長】

次に、(3)【市役所イノベーション、「目標管理システムの導入】】のところでは、

少し抽象的ですが、現段階ではこれ以上中身に立ち入ったことについてまでは意見を出し難い点があります。此处では、各委員の意見でも、また、特に総務部長からご助言いただいたことでもあるリーダーシップについては強調しておきたいと思っております。

よろしいでしょうか？

【全 員】

はい、結構です。

【社会長】

次に、「(4)【市役所イノベーション、「ICT化の推進(第1プール)」の実施事項追加加入】ですが、能村委員から追加項目としてご提案いただいたものです。つまり、改革の方策に、「インターネットを活用した情報発信の促進」とし、取組み内容として「議会活動や行政活動について、民間と共同して、市民に新鮮で分かり易い情報提供を進める」と致しました。ここのところは、実際に視聴率の問題などがありますが、前回、皆さんの「追加することが良い」と言うご意見に従い、記載いたしました。能村委員、よろしいでしょうか？

【能村委員】

はい、ありがとうございます。

【社会長】

次に、(5)【市役所イノベーション、「ICT化の推進(第3プール)」】です。ここは永山委員にお手伝い頂いて、表現も変えました。第3プールですので、具体的内容というよりは、考え方というか、今後の課題を示すということからこのように致しました。よろしいでしょうか。

【永山委員】

はい、そうですね。

【社会長】

では、「Ⅱ付帯意見」に参ります。

「(1) ローリング・プラン方式導入の本旨が活かされる運営を期待いたします。」についてです。②の「改革の成果や影響についてモニタリングを行い」は、特に副会長からご発言があり、各委員も同意されたものです。③の「特に中間期(3年目)には『行政改革2016』全般の進捗状況、成果について総括すること」ですが、5年目という期間は長すぎるというのが、我々の感覚ですが、他の施策との関連もあり5年としたいということですので、それならば、3年目には1度きちんと中間総括をして欲しいという趣旨であります。

如何でしょうか？ 併せて、“従って”までの前段の記載については必要でしょうか？

【永山委員】

記載のとおり、5年間という相当なスピードの環境変化が想定されますので、この部分
は必要と考えます。

【松尾副会長】

“従って”までは、後段の部分の背景や問題意識が述べられていますから、記載がない
と、なぜ後段のように考えたのかという根拠が見えませんが、必要と考えます。

【向井委員】

僕もあつたほうがいいと思います。なぜ“従って”となるのか示すために、残した方が
いいと思います。

【社会長】

それではこのまま残すということよろしいでしょうか？

【全 員】

結構です。

【社会長】

内容については、①～③でよろしいでしょうか？

【全 員】

はい、結構です。

【社会長】

次は（２）に参ります。「庁内各部（室）の“主体的に連携した”取り組みが展開される
ことを期待いたします。」というところですが、つまり、それぞれが脇役ではなくて、それ
ぞれが主体的に、かといって、それぞれが独立するのではなく連携してということであり
ます。このセンスは、これから非常に大切になると考え、織り込みました。また、決して
総務部長の意見に迎合したわけではありませんが、上位職にある者のリーダーシップ、調
整能力の取り方だと思いますのでこのような記載に致しました。 よろしいでしょうか？

【全 員】

はい、よろしいです。

【社会長】

次に、「(3)「市役所イノベーション」への勇気ある取り組みを期待いたします。」についてです。行政活動が本来持つ特性と言うくぐりは、あまり説明が要らないと思います。政策的に決定されたことを決定されたようにルールを守りきちんとやるというのが、まず行政の本分で、それが特性だと思います。しかし、それだけでは適応性を失うのであり、正にイノベーションが必要であるということでもあります。

なお、「仕事の仕方の見直し」については、当懇話会では随分議論しました。しかし、今回示されました原案では、具体的に何かをやるというところまでは行きませんでした。そこで、前回副会長からもご発言いただきましたが、我々の意思として、市役所内部の仕事の仕方については今回の実施計画に何か載せるのが難しいとするならば、「少なくとも来年に向けて、継続して検討してください」ということを付言しておきたいと考えます。

よろしいでしょうか？

【全員】

結構です。

【社会長】

①の「具体的方策を伴った進化・深化が図られるべきこと」の“進化・深化”と並べることについてはいかがですか？

【向井委員】

意味からすると、進化して、なお、深化するということですので、「進化、並びに深化を図る」という形にしなければ、“・”だと同一の意味になると思います。あるいはどちらかを削除するかですね。

【能村委員】

でも、この表現はなかなか、目に訴えますね。

【松尾副会長】

私はこの表現は、自分でもよく使うほど好きな表現です。

【太齋委員】

強調しているということですよ。

【松尾副会長】

取り組みを進めるという部分と深める部分を並列に行っていかなければいけないと思います。

【永山委員】

向井委員のご意見が、両方入っていてよろしいかと思えます。

【社会長】

それでは「進化、並びに深化」といたしましょう。

以上で、一通り終わりましたが、如何でしょうか。浅井委員、どのような印象ですか？

【浅井委員】

はい、内容については大変結構だと思います。

1つお聞きしますが、最初のⅠ結論の2に「検討されることを要請いたします。」とありますが、これに対するフィードバックはどのようにになりますか？

【社会長】

この後は、この報告書を受けて最終的には行政改革推進本部会議で決定されます。懇話会の役割は、今回の最終的な意見を提出するところで終了すると思えます。仮に報告書の意向が採りいれられなくとも、そのことについて、さらに議論するという事は致しません。ただ、私としては、今回の意見については、相当な議論を経ておりますので、ほぼすべて汲み上げて頂けるものと思っております。

なお、最終的に決定し、出来上がったものは各委員にお送りいただくことを、事務局にはお願いいたします。

【浅井委員】

はい、わかりました。

【向井委員】

「要請する」ということは“期待する”というニュアンスになりますので、他の強い言葉はありませんか？

【太齋委員】

「切望する」と言うと、強すぎますか？

【松尾副会長】

どのような言葉が適切か、難しいところですね。

【社会長】

実はこの書き方は、「Ⅱ付帯意見」の記載にあわせておまして、まず『期待します』とし、『理由』を述べ、『従って』として、次のことを『要請します』、という書き方にしております。

【松尾副会長】

付帯意見については推進のことなので、今後の様々なことを期待するという表現になり、結論はすぐに成案となる実施計画についてですので、検討して下さいという意味で、期待ではなく要請になろうかと思えます。

【社会長】

「要請します」となると“お願い”というニュアンスがありますので、さらに少し固い表現とすると「検討することを求めます」となると思えます。

【永山委員】

「期待します」では、意味合いとして弱くなると思えます。

【社会長】

それでは、「検討されることを求めます。」でご同意いただけますか？よろしいでしょうか？

【全員】

それで結構です。

【社会長】

このようなことで終了することとなります。よろしいですか？

【事務局：川又総務部長】

申し訳ございません、2、3点よろしいでしょうか？

1点目が、「Ⅰ結論」の2の（5）の文末「述べるべきであるとする。」を、前の（1）～（4）の結びに合わせて「述べるべきであります。」にしたほうが統一的かと思われま

【向井委員】

統一したほうがよろしいですね。

【社会長】

ありがとうございます。

【事務局：川又総務部長】

2点目が、「Ⅱ付帯意見」の（1）の①「手法に墮する」は「手法に陥る」の方がよろしいのかと思われます。

【浅井委員】

「墮する」でよろしいのではないのでしょうか。

【社会長】

あまり使いませんか？ あまり馴染みの無い言葉は避けた方が良くかもしれませんね。

【事務局：川又総務部長】

3点目が、「Ⅱ付帯意見」の（3）の①文末、「図られるべきこと」は「図られること」の方がよろしいのかと思われます。

【社会長】

大変ありがとうございます。

「Ⅰ結論」の2の（5）の文末「述べるべきであるとする」を「述べるべきであります」の“ます”調にする、「Ⅱ付帯意見」の（1）の①「手法に墮する」は「手法に陥る」にする、「Ⅱ付帯意見」の（3）の①文末、「図られるべきこと」は「図られること」にする、こちらでよろしいのでしょうか？

【松尾副会長】

統一という観点で言いますと、「Ⅰ結論」の2の（2）の文末は“です・ます”調にしたらどのような表現になりますか？このままで違和感は無いですか？

【永山委員】

そうですね。

【社会長】

よろしいですか？ ではこのままにいたしましょう。

【向井委員】

「Ⅰ結論」の2の（2）の“例えば”を抜いたらおかしくなりますか？

【社会長】

それがいいですね。次に、“など”がありますのでおかしくなりませんね。「これを実行してください」という直截な表現を避けたかったものですから…。“など”がありますので、“例えば”は取ります。

ほかにありませんか？

では、事務局にはお手数をお掛けしますが、ただ今のことを修正したものを、直ちに作成していただきます。その間、少し休憩いたします。

(休憩)

【社会長】

「報告書」が出来ました。ただ今お配りしたものが、平成 23 年度の行政改革懇話会「報告書」となります。御異議ありませんか？

【全 員】

異議なし。

【社会長】

ではこの報告書を石狩市長に提出することになりますが、これも大変僭越ですが、私がお預かりして、市長の日程も調整したうえで、私からお渡ししたいと考えますが、それでよろしいでしょうか？

【全 員】

はい、よろしいです。

【社会長】

では、そのようにさせていただきます。

これで今年度の行政改革懇話会は終結致します。皆様のご協力に、心からの御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

【事務局：幸田行革担当参事】

総務部長から、ご挨拶いたします。

【事務局：川又総務部長】

どうもありがとうございました。

本年度については7回に渡り開催いただき、報告書をまとめていただきました。

昨年度につきましても5回開催し、市長とも懇談いただきましたし、新大綱に早期に着手するようご意見を頂きながら、取り進めて参りました。こちらにつきましても貴重なご意見を頂きました。

皆様の委員任期につきましても、平成22年からということでこの3月をもちまして2年の任期を終了ということになります、誠にありがとうございました。

今回ご意見を頂いて作成しました大綱、実施計画につきましては、ご意見の中にもありますように如何にこれを実施していくかが鍵となりますので、市長を筆頭にして進捗に努めて参ります。

また、引き続きH24・H25と委員をお引き受けていただく方もおられますが、市行政改革、並びに市の行政全般につきましても皆様の貴重なご意見、ご提言をいただければと考えてございます。

本来であれば市長からお礼を申し上げるところですが、私の方からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

【社会長】

ありがとうございました。これで終了いたします。
お疲れ様でした。

(閉会)

平成24年3月12日 議事録確定

石狩市行政改革懇話会 会長 辻 正一